

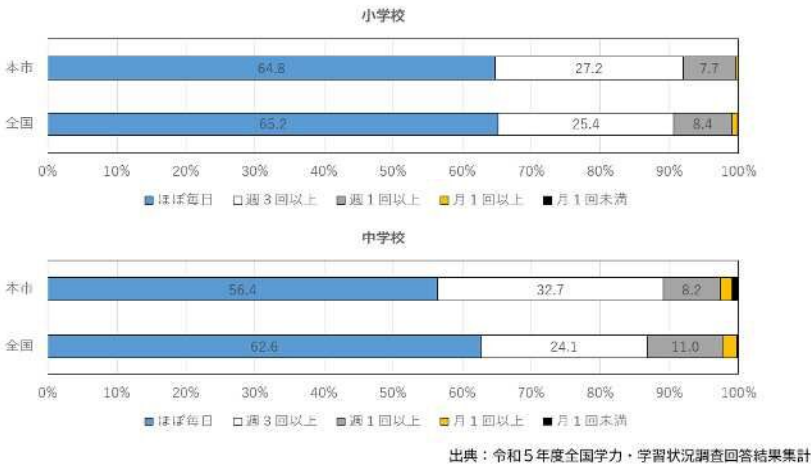
名古屋市学校教育情報化推進計画について  
学校教育の情報化の推進に関する法律に基づく「名古屋市学校教育情報化推進計画」は、国の通知に基づき本計画の施策19及び施策20をもって代えることとします。

基本的方向Ⅴ

施策19 未来の学びを支える、ICT 環境の進化に取り組みます

現状と課題

- 令和 2（2020）年度以降、学校現場においてはGIGAスクール構想に基づき整備された 1 人 1 台端末や大型提示装置※といった ICT 機器、高速大容量のネットワーク、学習用ソフトウェアを活用した新たな学びに取り組み始めたところです。  
しかしながら、ICT 機器や学習用ソフトウェアは、必ずしも毎日活用されているわけではなく、さらなる活用の余地があります。
  - 今後は、どのような ICT 機器や学習用ソフトウェアが利用しやすく、また学習面で効果があるかについて、調査・検討し、望ましい ICT 環境の整備と進化を続けていく必要があるほか、デジタル教科書の導入に伴いネットワーク環境の増強も必要となります。  
また、さまざまな教育データ※を連携し可視化するダッシュボード※を活用し、学習面でつまづきを抱えた子どもや生活面での支援が必要な子どもを早期に発見し、適切な対応に繋げていくこと及び不登校やいじめの発生リスクが高い学校に重点的に支援を行うなどといった教育データの利活用やEBPM※の推進が国から示されています。  
そのため、それらを可能とする環境整備の一環として、ネットワーク再構築や各種システムのクラウド移行といった必要な取り組みを進めていきます。
- 【「PC・タブレットなどの ICT 機器を授業でどの程度活用しましたか」という質問に対する回答】



関連する個別計画  
▶ なごや子ども・子育てわくわくプラン2024

※大型提示装置：コンピュータ等と接続して教科書や教材等を大きく映す機能を有する装置  
※教育データ：子どもの学習記録（スタディ・ログ）、生活・健康面の記録（ライフ・ログ）、教職員の支援等に関する情報とその効果・有効性の評価（アシスト・ログ）等の総称  
※ダッシュボード：データを自動的に収集・分析・加工し、表やグラフなどで視覚的に一覧化した画面  
※EBPM：根拠に基づく政策立案。Evidence Based Policy Makingの略称



## 内 容

### 【教育データ利活用とEBPMの推進】

教育データの利活用やEBPMを推進できるよう、ダッシュボードの整備をはじめとする ICT 環境の進化に取り組めます。

### 【ICT を活用した教育の推進】

全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けて、1人1台端末の更新を始めとする ICT 環境の整備を図るとともに、その活用を推進します。

#### 教育データ利活用とEBPMの推進 [19-1] (P.125)

#### ICT を活用した教育の推進 [19-2] (P.125)

#### 【教育データ利活用や ICT を活用した教育のイメージ】

学級・学校経営、生徒指導への活用

いつでも・どこでも・自分らしい学びができる

学級状態が分かる  
「ノーマーク」の子どもを早期発見  
きめ細やかな指導に活かせる  
担任以外も含めチームとしての支援が可能



前に戻れる・先に行ける  
どこからでもどこまでも



特性に合わせて自分らしい学び方を選べる



成 果 指 標		現状値 令和5(2023)年度	目標値 令和10(2028)年度
1	1人1台端末を授業でほぼ毎日活用している学校の割合	小 64.8% 中 56.4%	小 100% 中 100%
2	ダッシュボードを活用し、学習支援や個の支援などを行っている教員の割合	—	100%

※教育データ：子どもの学習記録（スタディ・ログ）、生活・健康面の記録（ライフ・ログ）、教職員の支援等に関する情報とその効果・有効性の評価（アシスト・ログ）等の総称  
※EBPM：根拠に基づく政策立案。Evidence Based Policy Makingの略称

関連事業名	事業内容
6-2 <b>★教育と福祉の連携による支援の充実</b> 幼 小学 中学 高校 大人	スクリーニングをより効果的・効率的に実施するため、校務支援システムを活用したデータの連携・可視化等について検討・実施 【新しい学校づくり推進課】
7-1 <b>★いじめ防止対策の推進</b> 幼 小学 中学 高校 大人	「名古屋市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめを許さない風土・土壌の形成によるいじめの未然防止を推進し、SNS相談アプリの活用やウェブ版学校生活アンケートを実施 【義務教育課・高等学校教育課・特別支援教育課・新しい学校づくり推進課】
7-2 <b>★不登校児童生徒支援の充実</b> 幼 小学 中学 高校 大人	不登校児童生徒がそれぞれの進度にあわせて自宅等での学習を進められるよう、民間事業者が提供するオンライン学習プログラムによる学習支援を実施 【新しい学校づくり推進課】
12-1 <b>★学校における働き方改革の推進</b>	学校における働き方改革を推進するため、学校徴収金システムをはじめとするICTの活用を検討・実施 【新しい学校づくり推進課・教職員課・学校DX推進課・学校保健課・学校事務センター】
16-1 <b>★図書館の魅力向上</b> 幼 小学 中学 高校 大人	図書館サービスを充実させるため、電子書籍の充実・ICタグの導入等DXを推進 【図書館】
17-1 <b>★博物館、蓬左文庫、秀吉清正記念館の魅力向上</b> 幼 小学 中学 高校 大人	広く市民の学習活動を促進するため、それぞれの興味や目的に応じて学び・楽しむことができるよう、資料データ、デジタル教材等を公開する「デジタル名古屋市博物館」を構築 【博物館、蓬左文庫、秀吉清正記念館】
17-2 <b>★美術館の魅力向上</b> 幼 小学 中学 高校 大人	令和10（2028）年に築40年を迎える美術館がさらに魅力的な施設となるため、今後の方向性について調査を行うとともに、老朽化・狭あい化した施設・設備の機能向上も含めた基本計画を策定し、多様な市民ニーズを踏まえた企画展示の開催や子ども向け事業の充実、国内外の美術館との交流など魅力向上に関する事業等を実施 【美術館】
17-3 <b>★科学館の魅力向上</b> 幼 小学 中学 高校 大人	最新の科学に対応した魅力的な展示・普及啓発を行うため、多言語対応をはじめグローバルな視点のもと、特別展等の開催、プラネタリウムを含め一定期間を経過した展示品や機器の更新及びB6形蒸気機関車の動態展示等の新たな展示の整備を実施 【科学館】

基本的方向Ⅴ

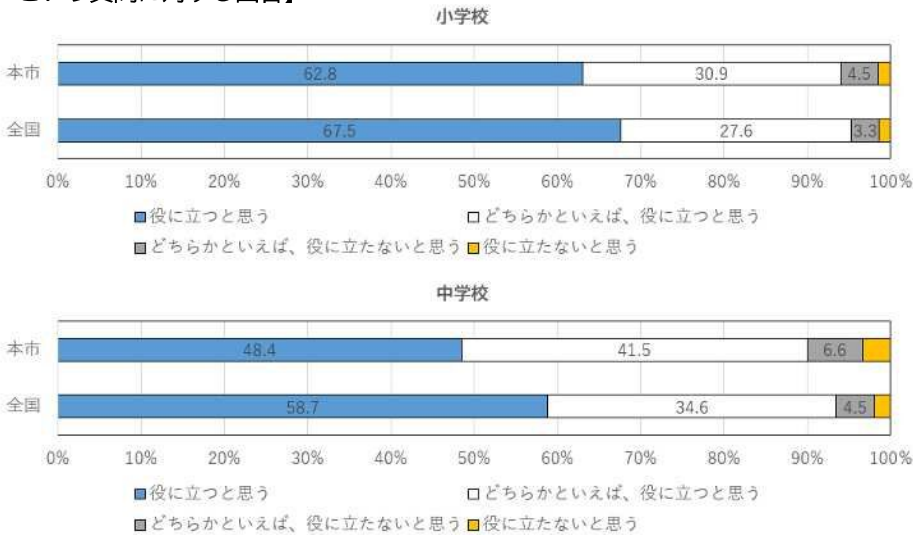
施策20

ICT を活用できる能力を高め、新たな学びの可能性を広げます

現状と課題

- 令和 5（2023）年度の全国学力・学習状況調査において、本市の小学 6 年生の93.7%、中学 3 年生の89.9%がタブレットなどの ICT 機器を使うことは勉強に役立つと考えているなど、ICT 機器を活用することの効果については子どもが体感しているところです。
  - 今後も、子どもの科学への興味関心を高めることや論理的な思考力を養うことにつながる ICT を活用した学習やプログラミング教育を推進するほか、ICT 機器と上手に付き合い適切に活用するための情報モラル教育など、子どもの情報活用能力の向上に継続的に取り組んでいく必要があります。
- 一方で、令和 4（2022）年度の学校における教育の情報化の実態等に関する調査において、授業に ICT を活用して指導する能力に関する設問について、「できる」「ややできる」と答えた割合は、77%に留まるなど、教職員が ICT をさらに活用する余地は大きいと考えられます。
- また、プログラミング教育や情報モラル教育など近年新たに求められるようになった指導内容もあるほか、ICT 機器の運用や管理に関する事務が生じるなど、教職員には新たな負担が生じているといった側面もあります。
- そのため、ICT 活用指導力を高めるための研修の充実や、情報通信技術支援員（ICT 支援員）といった外部人材の活用等を通じて、教職員の支援に取り組む必要があります。

【「学習の中でPC・タブレットなどの ICT 機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」という質問に対する回答】



出典：令和 5 年度全国学力・学習状況調査回答結果集計

関連する個別計画  
▶ なごや子ども・子育てわくわくプラン2024



## 内 容

### 【子どもの情報活用能力の向上】

理数教育の充実に向けて、プログラミング教育等を推進するとともに、情報モラルの習得に資する学習サイトの活用を促進することにより、子どもの情報活用能力を向上します。

### 【教職員の ICT 活用指導力向上・活用支援】

教職員の ICT 活用指導力の学校間格差を解消するために、効果的な研修を実施します。また、学校や幼稚園の多様なニーズに応じた、適切な ICT 支援体制を継続的に整備します。

#### ICT を活用した学習 [20-1] (P. 129)

1人1台端末を活用することによって、自らの疑問について深く調べたり、自分の進度にあった学習をしたりする「個別学習」やグループ内で複数の意見・考えを交流したり、写真・動画等を用いた資料・作品を、グループで制作したりする「協働学習」が効果的に行えるようになります。



【個別学習の様子】



【協働学習の様子】

成 果 指 標		現状値 令和5(2023)年度	目標値 令和10(2028)年度
1	学習の中でタブレットなどの ICT 機器を使うことが勉強の役に立つと思う子どもの割合	小 93.7% 中 89.9%	小 100 % 中 100 %
2	授業に ICT を活用して指導できる教員の割合	77.0%	100 %



事業名	事業内容	現況 令和 5 (2023) 年度	目標 令和10 (2028) 年度
20－ 1 子どもの情報活用能力の向上  子どもの論理的な思考力及び情報活用能力の向上のため、ICT を活用した学習やプログラミング教育、情報モラル教育を推進  <div>幼 小学 中学 高校 大人</div>	●小・中学校における理数教育の推進（ICT を活用した学習・プログラミング教育）【義務教育課】		
	小・中学校において、子どもの科学への興味関心を高めるため、また論理的な思考力を養うために、ICT を活用した学習やプログラミング教育を推進		
	○小・中学校における理数教育の推進	実施	実施
	●情報モラル教育【義務教育課・高等学校教育課・特別支援教育課・教育センター・学校DX推進課】		
	子どもがインターネットを利用する上で犯罪やトラブルから身を守るために必要なルールやマナーを身に付けることができる情報モラル学習サイトの活用を促進		
20－ 2 教職員の ICT 活用指導力の向上	○情報モラル学習サイトの活用促進	実施	実施
	●教職員の ICT 活用指導力の向上【教育センター・学校DX推進課】		
	教職員が授業で ICT を活用する能力や、子どもの ICT 活用を指導する能力を高めるための研修を実施するとともに、教職員自身の情報モラル向上のための研修及び情報モラル教育の実践的な指導力を高めるための研修を実施		
20－ 3 ICT 活用の支援  <div>幼 小学 中学 高校 大人</div>	○教職員の ICT 活用指導力向上のための研修	実施	実施
	● ICT 活用の支援【学校DX推進課】		
	情報通信技術支援員（ICT 支援員）の配置やヘルプデスクの設置等による情報機器等の活用支援を通して、効率的に ICT を活用できる環境づくりを推進		
	○情報通信技術支援員（ICT 支援員）の派遣	実施	実施
	○ヘルプデスクの設置	実施	実施

関連事業名	事業内容
1－7 <b>★市立高等学校における学びのあり方改革</b> 幼 小学 中学 高校 大人	高校生の学ぶ意欲に応じ、ICT機器やオンラインを活用するなどして、在籍する学校の枠を越えて、専門性の高い授業や特色のある授業を共有し、単位取得できる環境を整備 【高等学校教育課】
5－4 <b>★外国にルーツを持つ子ども等への支援の充実</b> 幼 小学 中学 高校 大人	日本語指導が必要な児童生徒の早期の学校生活への適応を図るため、初期日本語集中教室では、対面指導だけでなく、オンラインによる日本語指導を実施 【義務教育課・高等学校教育課・特別支援教育課】
7－1 <b>★いじめ防止対策の推進</b> 幼 小学 中学 高校 大人	「名古屋市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめを許さない風土・土壌の形成によるいじめの未然防止を推進し、SNS相談アプリの活用やウェブ版学校生活アンケートを実施 【義務教育課・高等学校教育課・特別支援教育課・新しい学校づくり推進課】
7－2 <b>★不登校児童生徒支援の充実</b> 幼 小学 中学 高校 大人	不登校児童生徒がそれぞれの進度にあわせて自宅等での学習を進められるよう、民間事業者が提供するオンライン学習プログラムによる学習支援を実施 【新しい学校づくり推進課】